



静岡県湖西市の取組

藤田 和久

静岡県湖西市危機管理監

湖西市の概要(1)

× 位置

- + 静岡県西部 (県境)
- + 浜名湖西岸

× 面積

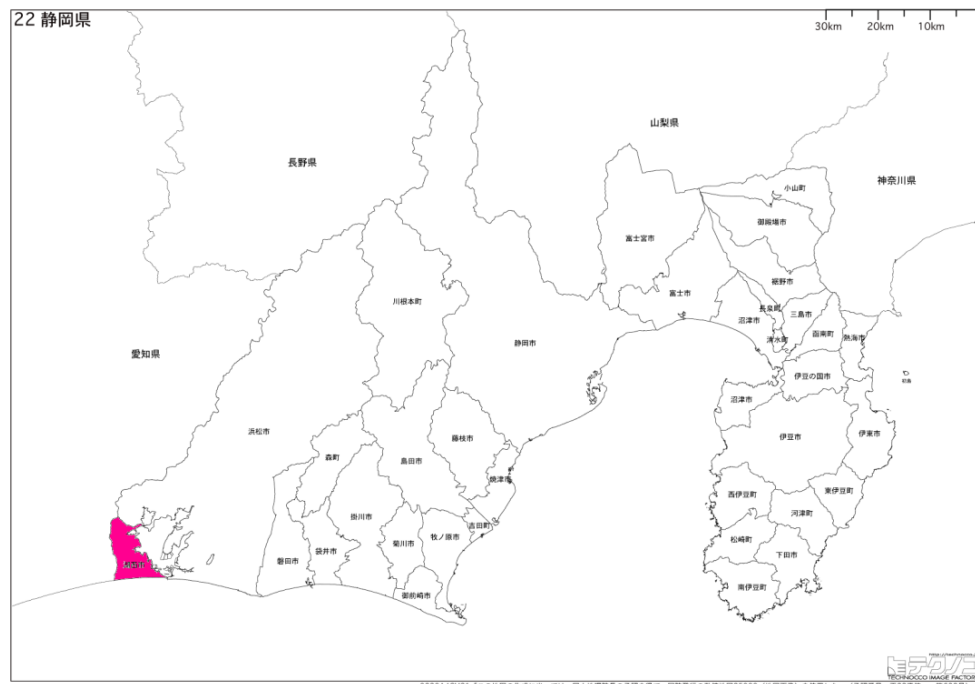
+ 86.65km²

× 陸域

★ 68.55km²

× 浜名湖面域

★ 18.10km²



国土地理院「平成24年全国都道府県市区町村別面積調(平成24年10月1日)」及び
静岡県都市計画課「静岡県の都市計画(平成25年3月31日現在)」による

湖西市の概要(2)

× 人口

平成26年9月30日現在

+ 61,370人

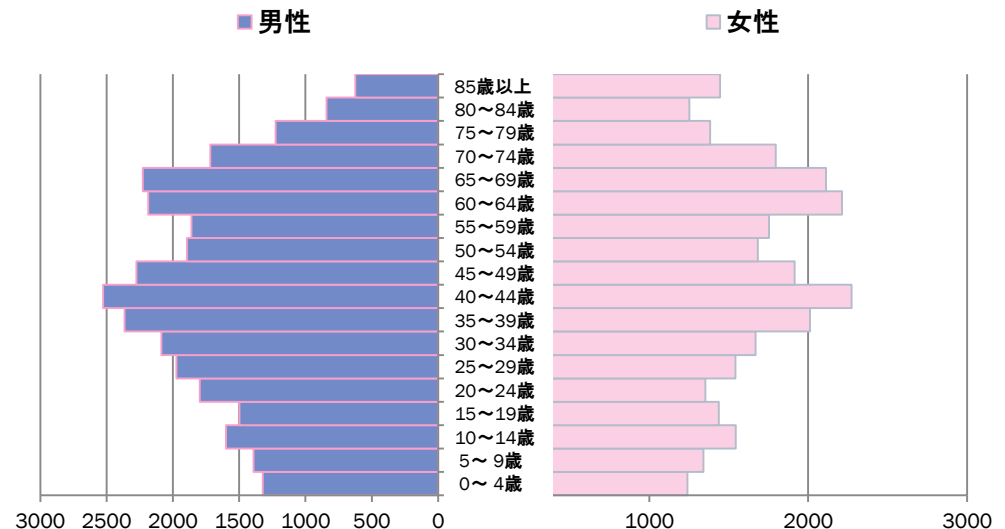
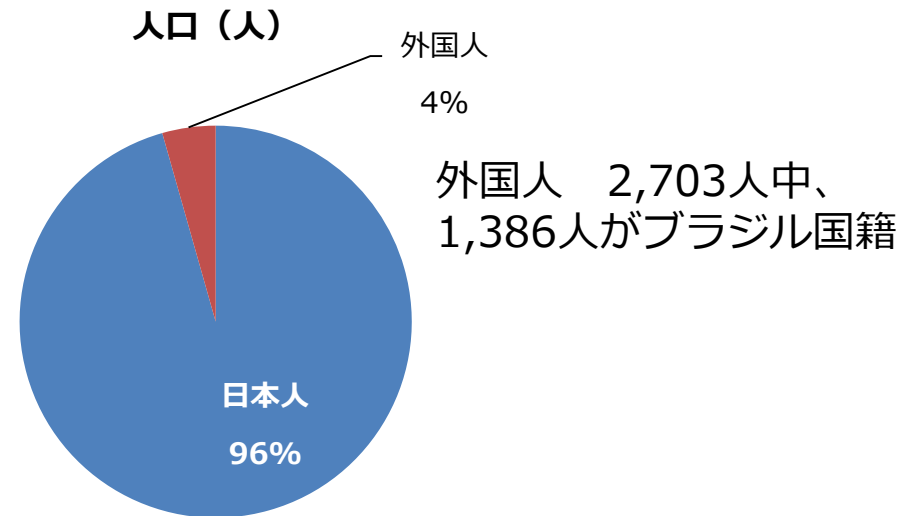
× 男性：31,370人

× 女性：30,000人

× 世帯

+ 23,305世帯

× 2.63人/世帯



湖西市の概要(3)

✕ 製造品出荷額等

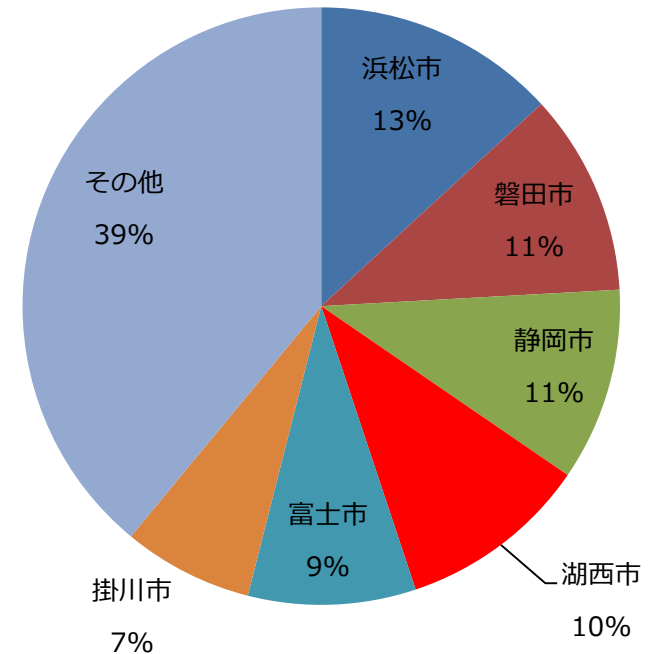
+ 静岡県 149,497億円

+ 湖西市 15,427億円

(全国第22位 県内第4位)



製造品出荷額等



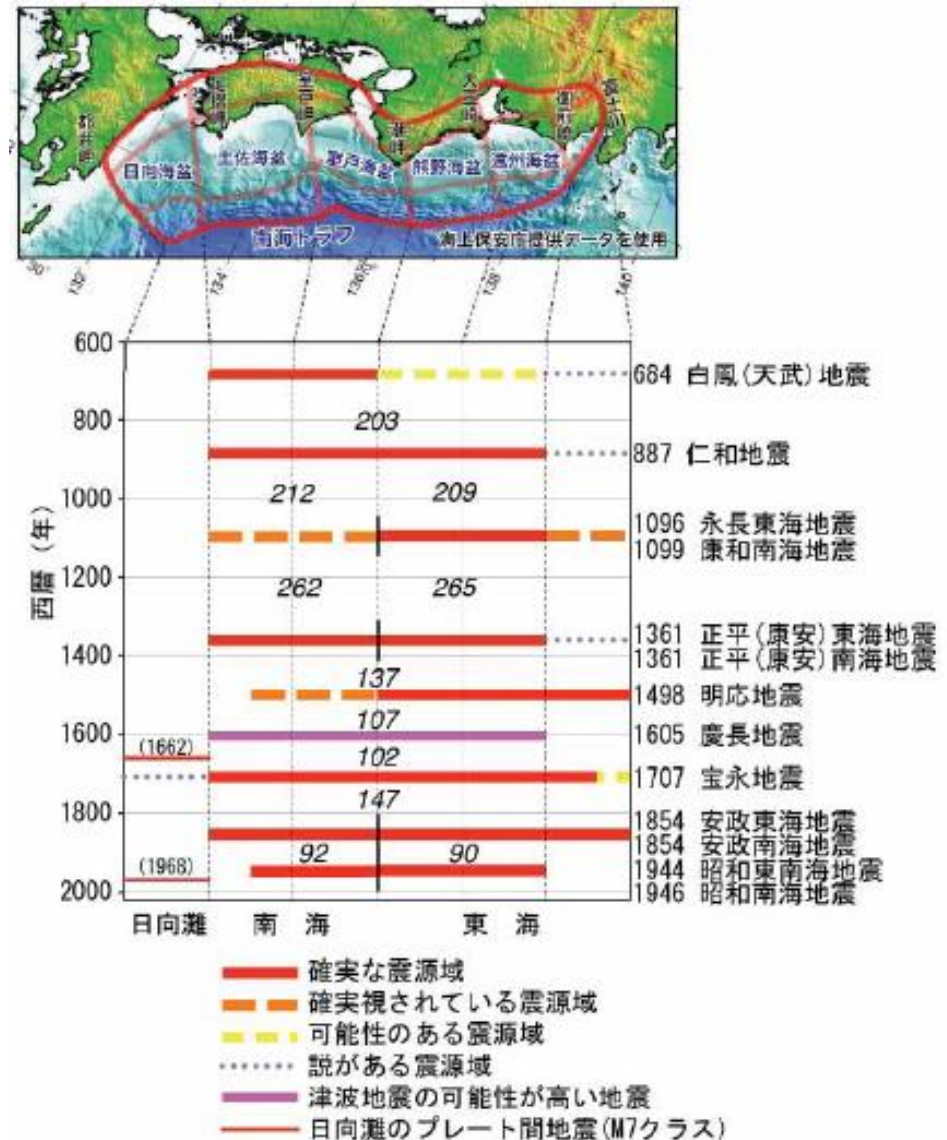
平成24年経済センサス-活動調査産業別集計（製造業）報告書より

湖西と災害の歴史(1)

浜名湖は、縄文時代以降、
汽水と淡水の時期を繰り返
し、現在は汽水湖の時代

淡水 → 汽水

1498年の明応地震で今切
口が開き、直接、太平洋と
つながったためと言われて
いる。



湖西と災害の歴史(2)

今切口ができる

1498年
明応地震

関所及び新居宿・
白須賀宿の移転

1707年
宝永地震

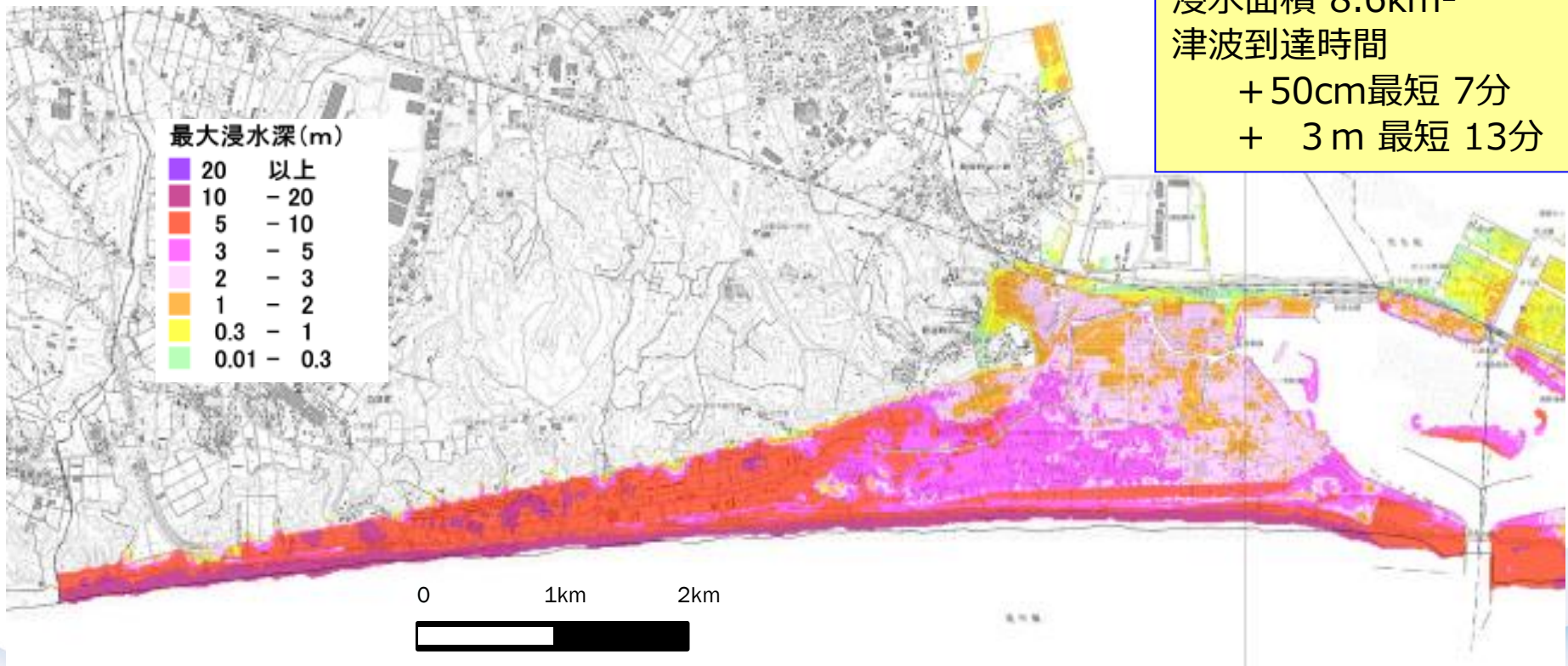
関所の一部損壊など

1854年
安政東海地震



湖西市と静岡県第4次地震被害想定

× 湖西市の被害想定



湖西市津波避難計画(1)

	旧計画	新計画
計画範囲	安政東海地震（1854年）時の推定浸水範囲	静岡県第四次地震被害想定レベル2 浸水想定範囲
	遠州灘海岸沿い及び浜名湖岸内一帯を含む広い範囲を計画範囲とする	白須賀地区と新居地区の遠州灘寄りで概ね東海道新幹線路よりも南側を計画範囲とする
避難行動基準	地震発生から4分後に避難開始	地震発生から5分後に避難開始
	避難速度は1.00m/秒	避難速度は0.62m/秒
	津波到達までに概ね960mの避難	津波到達までに概ね770mの避難

湖西市津波避難計画(2)

	旧計画	新計画
避難範囲コンセプト	半径900m以内の避難場所に避難する	概ね770mの実歩行距離で避難範囲を計測
		避難は高台へ
		時間内に高台へ避難できない地域は津波避難施設を目指す
		津波避難施設は、たくさんの人を収容できる施設を目標とし、そこまで時間内に避難できない人は近くの小さな津波避難施設を目指す

避難範囲の検証

河岸や湖岸は可能な限り通行しない

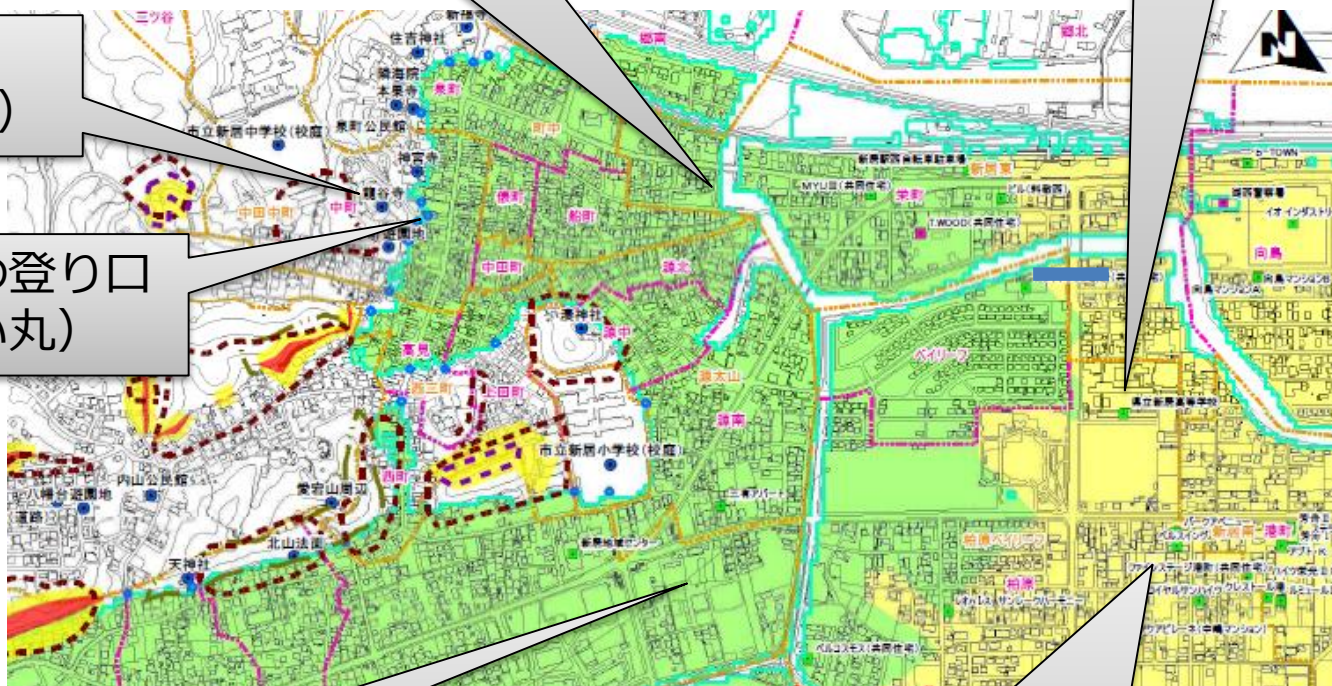
収容人数の多い
津波避難施設

高台
(青い点)

高台への登り口
(青い丸)

高台まで時間内に避難
できる範囲 (緑)

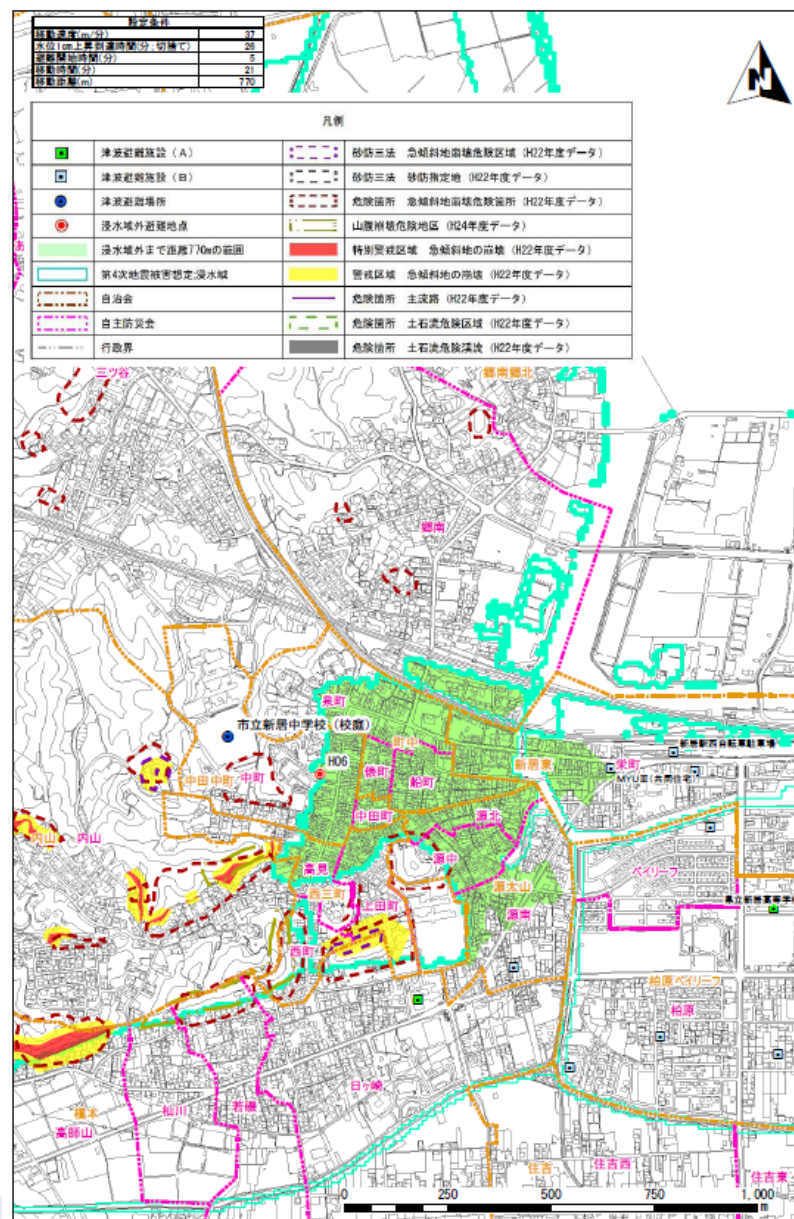
高台まで時間内に避難できないが、収容人数の多い避難施設に避難できる範囲 (黄)



避難可能範囲図

- ✕ 各高台や収容人数の多い津波避難施設ごとに、その地点までの避難が可能な範囲を示した。
- ✕ 高台など上がる地点が複数ある場合は、その地点ごとに作成
- ✕ 地区ごとに特定の避難経路で特定の避難場所へ避難するというコンセプトではなく、範囲図を見比べて、また実際に歩いて自分で考えて避難経路を作るというコンセプト

避難可能範囲 No. H06 市立新居中学校（校庭）



避難経路は自分で作る

- ✕ 自分で街歩きをして避難路を作るための参考として・・・
 - + ハザードマップ
 - ✕ レベル2の想定浸水深をカラーで色別表示
 - ✕ 避難場所やAEDの設置箇所も図示
 - ✕ 市内を5地区にわけて作成。裏面には市内全域が印刷されている
 - + ハザードマーカー
 - ✕ 路面に埋め込むセラミック製の想定浸水深を標示するマーカー
 - ✕ ハザードマップの想定浸水深と同じ色で配色している
 - ✕ 想定浸水域内182箇所に設置
 - ✕ 大きさ：直径11.6cm セラミック製
 - + 津波避難路 路面標示シート
 - ✕ 避難経路となる道路面に張り付けた高台や津波避難施設の方向を矢印で標示する蓄光素材のシート
 - ✕ 蓄光素材なので停電時でも視認性が高い
 - ✕ 想定浸水域内59箇所に設置
 - ✕ 大きさ：縦70cm×横50cm



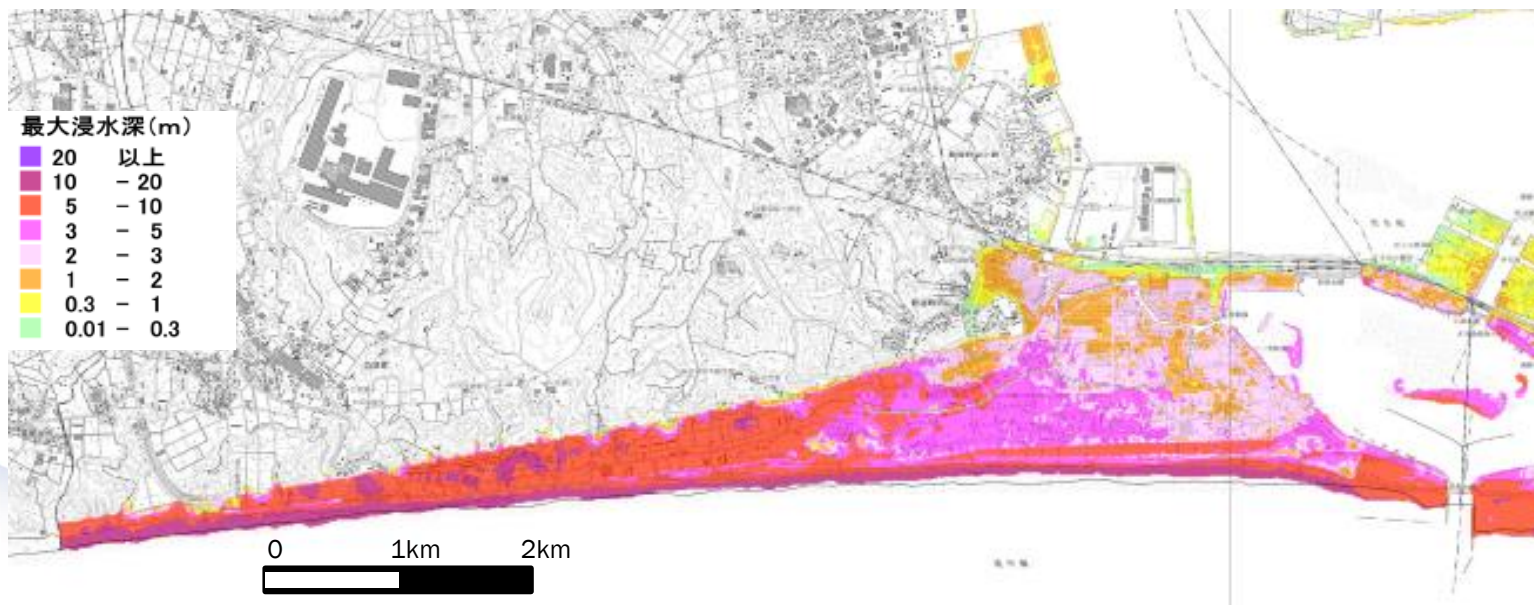
津波対策（短期対策）

× 津波避難施設空白域の解消

- + 今年度中に新居弁天地区に津波避難デッキ 1 基を建設
- + 地元自治会・町内会・自主防災会の協力のもと、建設候補地を選定し、避難マウント（命山）、津波避難タワーを設置する予定
 - × 現在、避難マウント 1 箇所、避難タワー 1 箇所の設置に向けて事業化中。

津波対策（中長期対策）

- ✖ 住民の避難行動を側面から支える対策
 - ① 今切口付近での津波防御施設の嵩上げ
 - ② 避難地・避難場所の安全確保対策
 - ③ 海岸防災林の嵩上げ・改良 等



御清聴ありがとうございました